



8月祭事暦

毎月1・15日 つきなみ 月次祭

午前10時
高宮祭
第二宮・第三宮祭
引き続き
宗像護国神社
月命日祭(1日)
巡 拜(15日)

午前11時～
総社祭
浦安舞奉奏(1日)
豊栄舞奉奏(15日)

7日 中津宮七夕祭

午後7時～
於＝筑前大島 中津宮

15日 宗像護国神社 千灯明祭

午後7時～
於＝宗像護国神社

六月十日・十七日の両日、第三十一回宗像大社小倉百人一首かるた大会(主催＝宗像大社、社団法人全日本かるた協会 主管＝九州かるた協会 後援＝宗像市教育委員会)が、当社清明殿・斎館にて開催された。大会一日目、十日は、小・中・高校生が参加し、各クラスに分かれ試合が行われた。各級ともに静寂の中息詰まる熱戦が夕刻まで繰り広げられた。選手だけでなく、親御さんの子供を見守る姿、その選手に負けないくらい気迫に大社担当者は圧倒された。

大会二日目、十七日は、A・B・C級(有段者)の試合が行われ、九州は勿論、遠く関西・関東からも実力者が集い、高いレベルの試合が繰り広げられた。特に高段者が参加するA級は実



代表による選手宣誓

第31回 宗像大社小倉百人一首かるた大会



進め、ウルトラ出光人。

私たち出光人が、胸にいだく願い。それはこの地球にすむ人たちみんなに、「もっと」安心して、「もっと」活力にあふれる、「もっと」満足できる未来をお届けすること。その願いをかなえるために、私たち一人ひとりがパワーアップした姿、それがウルトラ出光人です。エネルギーの安定供給確保をはじめとして、潤滑油、機能化学品から、電子材料まで多岐にわたる先進の技術、そして様々なサービスを通じて、「安心、活力、満足」をみなさまにご提供する。これからの出光人の活躍にご期待ください。

もっと安心、もっと活力、もっと満足。出光の約束 www.idemitsu.co.jp

暑中御見舞申し上げます

A級 (42名)

- 優勝 楠木 早紀 (大分県かるた協会)
- 準優勝 山田 潤次 (佐賀県かるた協会)
- 3位 吉田 悠平 (九州かるた協会)
- 3位 川原 康嗣 (九州かるた協会)
- 4位 児玉 奈月 (広島県かるた協会)
- 4位 松本 圭子 (島根県かるた協会)
- 4位 山本 智絵 (島根県かるた協会)
- 4位 宮 良美 (石川県かるた協会)

B級 (42名)

- 優勝 井上 葵 (九州かるた協会)
- 準優勝 平田比左子 (九州かるた協会)
- 3位 盛 実津希 (九州かるた協会)
- 3位 久木田裕一 (大分県かるた協会)

C級 (46名)

- 優勝 宮崎 隼輝 (九州かるた協会)
- 準優勝 久保田由佳 (九州かるた協会)
- 3位 中島 南美 (熊本県かるた協会)
- 3位 鶴田 俊佑 (大分県かるた協会)

D級 (26名)

- 優勝 橋本 飛鳥 (中津ややま会・大分県)
- 準優勝 里形 彰 (鹿本高校・熊本県)
- 3位 勝見 公貴 (若菜会・福岡県)
- 3位 織島 瑛莉 (筑紫丘高校・福岡県)

中学生以上 (23名)

- 優勝 高野沙奈子 (島根県かるた協会)
- 準優勝 山元 亮平 (長崎南高校・長崎県)
- 3位 東 衣里香 (筑紫女学園中学校・福岡県)
- 3位 中島 文 (筑紫丘高校・福岡県)

小学生 (27名)

- 優勝 平川 彩波 (宇美かるた会・福岡県)
- 準優勝 田坂 朋子 (新田原かるた会・長崎県)
- 3位 深町 巴 (大分県かるた協会)
- 3位 寺地さやか (宇美かるた会・福岡県)

力が伯仲し、激しい攻防戦が展開された。昨年は、二年間公式戦負けなし、クイーン(女子日本一)の称号を持つ楠木早紀(大分県かるた協会所属)さんが敗北するという大波乱がおきた。しかし今回は、波乱も起きることなく、順当に楠木さんが優勝を飾り大会の幕を降ろした。

本年度も、大会関係者・選手総勢二百名が協力し、盛会裏の内に大会は終了した。表彰式が終わると、一同互いの健闘を称え合い、再会を誓い大社を後にした。

各級の成績は左記の通り。



IDEX

三つのソリューションで、あなたのもっと身近へ。



株式会社 **新出光**

〒812-0036 福岡市博多区上呉服町1番10号

TEL(092)291-4134

宗像市海開き



神群宗像に夏の行楽シーズンを告げる「海開き」神事が、六月二十八日(木)午前

十時四十五分より宗像市神湊海岸にて宗像観光協会(会長 吉武邦彦氏)、玄海ホテル旅館組合(組合長 原重司氏)主催のもと執り行なわれた。

当日の神事を祝うかのように晴天に恵まれ真夏日の中、当大社渡邊祢宜以下神職二名が神湊海岸へ出向。浜辺に祭壇をしつらえ、海川山野の神饌を御供えし準備が整ったところで、玄海ホテル旅館組合(組合長 原重司氏)、神湊飲食店組合(会長 安部修市氏)、水難救助所(所長 永島一清氏)ら、海に関わる各関係者が多数参列し、「海難事故の無いように」、「大勢の人々が宗像の海を訪れるように」と神

職並びに参列者は敬虔な祈りを捧げた。神湊海岸での神事が終了すると、神職が二手に分かれ、深浜海岸、鐘崎漁港、五月松原、江口浜(江口)、勝浦海岸(津屋崎)など、市内の各海水浴場へ向かい清祓を行ない、すべての祭典を終了する。

温暖化の影響により今年も、例年より厳しい暑さが予想されており、海水浴場利用客も増えると思われる。参列者の願いととしては、利用者の増加により海難事故の可能性が高くなるなか、「観光客の皆様には、海では無理をせずルールを守り、皆が楽しく海の恵みを楽しんでいただければ」と想いをよせる。

心字池清掃

3年振りに実施

去る六月十六日より約一週間をかけて平成十六年八月より凡そ三年振りとなる当社心字池の清掃が行われた。

清掃初日、中央の太鼓橋の下で池を塞ぎ止め、半分の水を吸いあげると、水の抜かれた池底・池周囲の自然石には、青粉がこびりついており高圧洗浄機で綺麗に洗い落とした。

三年の間に池底にはかなりの汚泥・枯枝葉が溜まり、その中からカニや鰻などが這い出し賑やかな清掃となった。十八日からは(株)林田産業に加わって頂くと、強力吸引車により汚泥が勢い

よく吸い込まれ、作業は急ピッチで進み、その汚泥の量は二、五トン車数台分ほどにもなった。

清掃の終えた半分に水を張り、鯉を清浄な水に移す作業には骨が折れ、当社神職・管理員が汗と汚泥に塗れながら数百匹の鯉をひたすら網ですくい移動させ、残る半分を同様の作業にて行い、池全体の清掃が終了した。

今後の池の浄化維持には課題が



残るものの、清浄になった池で元気に泳ぐ数百匹の鯉は、社頭を訪れた多くの参拝者の目を大いに楽しませている。

黒豚横丁。

つばめ
2枚きっぷ
15,600円
(1枚あたり7,800円)

博多
⇕
鹿児島中央間
最速
2時間12分

さあ、黒豚横丁へ!

博多から最速2時間12分。鹿児島島の繁華街・天文館には黒豚料理のお店がたくさん。「とんかつ」や「しゃぶしゃぶ」など美味しい黒豚のお店をはじめ、スイーツのお店など天文館エリアの情報や特典が満載の夏限定リーフレットを片手に、あなたも黒豚横丁を堪能してみませんか?

鹿児島スウィッチのリーフレットは、JR九州の主な駅・ジョイロードで配布中!!

巫女研修

「マナー講習」と「浦安舞」温習

巫女 清水 亜矢子



巫女の素養向上を目指し、六月二十五〜二十七日の三日間、地元玄海ロイヤルホテルでマナーを、七月十一〜十三日の三日間、当大社斎館で神楽「浦安舞」の講習をそれぞれ受講しました。

マナー講習会は、玄海ロイヤルホテルのご好意により、同ホテルで研修資格をもつ三名の方が講師となり、社会人としての常識などを通し、参拝者が私達巫女に対し、或いは宗像

大社に抱いているイメージを壊さない努力というものを学びました。

具体的には、まず『笑顔』、そして『身だしなみ』、『正しい言葉使い』の三点が必要不可欠であることを再認識しました。簡単なようでいて、実は大変難しく内部事情を優先する場面もある現場では、そういった基本的なおろそかになってしまいう場合もあります。

遠方より訪れる参拝者も多く、社頭でそういった方々を応対する機会が最も多い私達にとって、とても良い刺激と勉強になりました。

神楽舞講習では、神社音楽協会より磯部恵子先生をお迎

えし、朝九時過ぎより午後七時までみっちりご指導いただきました。五年振りの温習ということもあり、自分自身では気付かない癖が多々あり、今回の温習は大変有意義なものでした。

また、磯部先生は磯部稲荷神社(茨城県西茨城郡岩瀬町鎮座)で神職もされており、「舞」というのは上手い下手ではなく、神様に対してお仕えしているという姿勢をみせることが最も大切。心に邪念がない状態が絶対であり、気持ちのこもっていない舞だけは絶対に舞ってはならない」と何度もおっしゃってられました。

今後の祭典奉仕では、改めて御祭神に奉奏するという気持ちを含めて、参列者の皆様にも昭和天皇の御心が伝わるような優雅な浦安舞を心掛けていきたいと思っております。



www.ana.co.jp

世界初。 World's First

2008年、ANAは世界に先がけて、ボーイング787を導入いたします。
In 2008, ANA will give wings to the world's first Boeing 787.

ANA | A STAR ALLIANCE MEMBER

氏子会 研修旅行

第16回 浅間大社・諏訪大社・甲州・木曾路を訪ねて

第十六回宗像大社氏子会研修旅行が六月二十五～二十八日の三泊四日で行われた。

この氏子会研修旅行は氏子の方々の研修と親睦を図ることを目的として開催された。本年の旅行参加者は二十三名と少ないながらも充実した意義のある旅となった。

二十五日夕方、安部氏子会会長他一行は新門司港よりフェリーに乗船し、船中に一泊。翌二十六日の早朝五時三〇分に泉大津に到着し



た。下船後、バスで西名阪・東名阪・名神高速を経、最初の目的地である富士山本宮・浅間大社に向った。到着後、浅間大社の外山権禰宜さんのお出迎えを受け、先ず正式参拝を行った。参拝後、境内、各施設も御案内いただき、懇切丁寧な説明に熱心に耳を傾けていた。特に特別天然記念物である湧玉池は湧水量が一日二十万トンあることを聞き、一同驚いた様子であった。

その後精進湖、河口湖と車窓より眺め一路宿泊地である石和温泉に向った。三日目は今年のNHK大河ドラマ「風林火山」で有名な武田信玄公をお祀りしている、武田神社を参拝。

第36回 宗像大社短歌大会開催

- 日時=11月10日(土)
小中高生/午前10時~11時20分 一般/午後12時20分~4時
- 会場 宗像大社「清明殿」
- 応募規定
小中高生は1首、一般は2首まで。出詠料は1首千円。(小中高生は無料)。B4原稿用紙に作品・〒・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号、小中高生は学校名と学年を明記。
- 締切/一般は8月末日、小中高生は9月10日
- 送り先/〒811-4199 宗像市自由ヶ丘2-7-9 宗像郵便局留「宗像大社短歌大会事務局」(巻栝梗)宛 小中高の区分を朱書き。 定額小為替と詠草集送付用切手140円分を同封のこと。
- 詳細に関する問い合わせは、右記宛にて往復葉書で。宗像大社のHPでもご覧になれます。
<http://www.munakata-taisha.or.jp/>
- ◆主催=「宗像大社短歌大会」実行委員会
- ◆共催=毎日新聞社
- ◆後援=福岡県・福岡県教育委員会・宗像市・宗像市教育委員会・宗像大社・宗像大社氏子会



し、格別の御高配を賜りました各神社の宮司様を始め職員の方々に、紙面を借りて心から厚く御礼申し上げます。



エネルギーに関する ベスト・パートナーを目指します。

お客さまの声に、誠心誠意、耳を傾けること。エネルギーに関する様々なご要望をワンストップで受け止め、グループの総合力を駆使して対応させていただくこと。それが九州電力のエネルギー・ソリューション。私たちは、お客さまとガッチリとスクラムを組み、エネルギーという幅広いフィールドの中で、エネルギーの効率的利用やお客さま設備に関するアドバイスなどに柔軟に対応できるベスト・パートナーを目指します。



ずっと先まで、明るくしたい。

<http://www.kyuden.co.jp/solution/index.html>

20 式内社顕彰会巡拝の記

当大社が事務局を務める式内社顕彰会九州支部は、去る六月二十五日から二十七日の日程で、第二十回式内社巡拝会「佐渡・越後國式内社巡拝の旅」を企画した。参加者は、当大社神島宮司外会員二十名が参加した。

六月二十五日午前十時三十分、新潟港に参加者一同集合し、高速船ジェットfoilで佐渡の両津港へ、一時間で到着した。

両津港に到着後、観光バスに乗り、佐渡國式内社九座の一つ熱串彦神社へと向かった。

神社の周囲は田畑で囲まれており、バスでは入れないのでタクシーに分乗し神社に向かう。宮本要司様の出迎えを受け、正式参拝を行う。境内には能楽堂がある。これは、室町時代に、佐渡に流された世阿弥によってこの島に能楽が浸透した事から、各地に能楽堂が建てられたそうである。



午後より生憎の雨模様となる中、小佐渡山脈に分け入り、途中でタクシーに乗り換えて、佐渡國式内社物部神社に一同到着する。

加藤瑞穂宮司様以下地元の方々で巡拝会一同を迎えて頂き、御食神社の福田賀行氏の奉仕で正式参拝を行う。参拝後は、地元住民の石川寛様から神社や地域の事について丁寧にご説明して頂いた。

次に、佐渡國式内社第三ノ宮引田部神社へ向かい、正式参拝を行う。豊原久夫宮司様は、巡拝会参加者全員の名前を祝詞奏上し、巡拝会の安全を祈願して頂いた。又、地元総代の方々に直会奉仕をして頂き、参拝の前日には、豊原宮司様と総代の皆様総出で境内の掃除をされたとの事で、一同感謝の気持ちを持って同宮を辞し、佐渡市内のホテルに宿泊する。

二日目は、最初に佐渡金山を見学する。次に、佐渡一ノ宮度津神社を参拝する。旧社格は國幣小社、御祭神は五十猛命、佐渡國式内社第一の宮で、陸上、海上の交通安全の守護神として全島で崇められている。金子健一宮司様より神社の説明をして頂いた。

ついで、真野御陵へと向かう。真野御陵は、第八十四代順徳天皇の御火葬塚であり、宮内庁が管理している。順徳天皇は、鎌倉時代、承久の乱で幕府に敗れ、二十四歳の若さで佐渡に配流となり、四十六歳の時、真輪寺(真野宮)で崩御された。

残念ながら、管理者の方は不在であったが、前日に参拝した引田部神社豊原宮司様が真野御陵に来て頂き、説明をして頂いた。参拝の後、順徳天皇を祭る真野宮へと向かう。

真木山麓宮司様の出迎えを受けて、早速正式参拝を行う。真野宮はかつては真輪寺という寺院であったが、明治時代に祟社になり真野宮となった。本殿奥には、順徳天皇の屋敷跡があり、皇族の参拝が多い神社である。

午後三時、佐渡を後する。当日は新潟県月岡温泉に宿泊する。

三日目はまず、弥彦村に鎮座する越後國一宮弥彦神社へと向かう。高さ三十メートルの大鳥居を通り、弥彦神社に入る。永田忠興宮司様の出迎えを受けて、正式参拝を行う。弥彦舞という巫女舞を奉仕して頂き、参拝後は、永田宮司様の御案内で新装となった社務所を見学させて頂いた。

続いて新潟市内へと戻り、白山神社へと向かう。新潟総鎮守白山神社の主神は菊理媛大神。加賀の白山頂上に祀られている女神で、勧請して新潟の地に祀った。創建不詳であり、歴代の統治者から篤い崇敬を受けてきた神社である。社務所にて小林直毅宮司様より御挨拶の後、神社の由緒について御説明を頂き、正式参拝を行う。

参拝後、小林宮司様の案内で、境内の南側に隣接する日本で最初の市民公園である白山公園を見学する。以上で神社参拝を終了し、新潟駅へ向かう。

駅へ向かう途中、バスの車内で解散式を行い、新潟駅と新潟空港で各々解散した。

参加者の皆様の御協力により、無事第二十回式内社巡拝会の全日程を終了する事ができました。また、この度の巡拝会において御世話になった各神社、施設の皆様方に紙面を借りて、衷心より厚く御礼申し上げます。



情報、環境、ものをつなぎトータルにデザインします。

Think And Produce

株式会社ジーエータップ
本社 / 〒812-0024
福岡市博多区網場町2-2 福岡第一ビル1F
Tel 092-291-8801 Fax 092-291-8805
東京事務所 / 〒102-0073
東京都千代田区九段北1-13-1 九段中坂ビル2F
Tel 03-3221-1735 Fax 03-3221-1736



暑中お見舞い申し上げます。

(続)

浜の寄物

217



いしい ただし

海上をおよそ四二日間走り、大川に入った。川幅は三里ばかりで、そこから十里ほど入ったところに、大きな港に着いた。ハンジャラマアン(パンジャルマシン・南カリマンタン・現インドネシア)で、南海一の都会である。船中より見ると、ゆたかな港で、中国船やオランダ船、諸国の大船がたくさん着いていた。孫太郎にとって、はじめて見る街の光景であった。見馴れぬ建物が四、五百戸ほど並んでいる。これは唐山客商(中国商人)の住居で、少し離れて、現地人や黒坊の家



カウマンタン・水上住居

がおびただしく軒を連ねている。川をへだててオランダ商館があり、その形は城郭のようで、水際から切石を築きあげ、垣根をもうけ、建物の狭間には、数十座の大砲が備えられ、要害嚴重である。

さてコロウは二九人の男女を小舟に乗せて渡り、岸下に舟をつなぎ、数人が陸にあがり、うりあるく。しばらくして、主人コロウは孫太郎をつれて行く。街の様子を見るに、街中は奇麗で、街路は軒下より七八尺は、甃(敷瓦)あるいは切石が敷かれ、そうでない所は椰子の木を削ったものが敷きつめられていた。往来する人は、風俗柔和に見え、衣服も整えられていた。孫太郎は「こんなところにうりつけられれば、せめて幸いであろう」と思った。さてどうなるかと、歩いているうちに、コロウは豪商の家につれていった。そこで孫太郎は売り渡された。

家主よりコロウには表面に騎馬の紋のある銀錢三十文が与えられ飯を食べさせて帰らせた(中国銀

やオランダ銀が使われた)孫太郎には小銃、劍槍それぞれ一つずつを渡された。この地の黒坊には悪い者が多くいて、白昼でも追剥する者が多いので、外出する時には、かならず武器をもつことという。其外衣類やお伴をする時の物を与え、名は日本と呼ばれることになった。

家主の名をタイコン官と云う。中国漳州の人で、母親は福州の出身者であった。妻の名はキントン、弟の名はカンベン官と呼ぶ。店の使用人は、中国人二名、黒坊四名、下男二名、舵工二名、兩人共に妻子をもち別に住んでいた。下婢三名、いずれも他国の黒坊の女兒であった。

孫太郎は下男の黒坊とは別格で、食物も中国人に準じ、恩情をもつて使われた。仕事は主人あるいは番頭に従い、商品を持ち、運んだり平日は水を汲んだり、薪を採り、また船を出すときは水手となつて働いた。



宗像大社 御神菓 調製

味噌せんべい・博多の四季

本舗 梅月堂

代表取締役 三野 拓蔵

〒812-0029
福岡市博多区古門戸町1-11
TEL 092-291-2966

第五五二回 宗像大社歌会詠草

大野展男選 毎月25日メ切

評 北九州市 戸畑区 田中 ハツセ
乱舞する螢を一つ掌に秘めて歩けぬ友へ持ちし日はるか
螢も開発により、めっきり減った。螢を通し作者の優しい気持ちが
見えるが一つと限定した処が惜しい。てのひらを互みくほめ手
渡すに螢の青きひかり移れり」は私の若い時のうた。

評 北九州市 八幡西区 吉田 ウト子
風先に何あるならむひと時に茨ひきゆく青嵐はも
青嵐のはげしさを「風先に何あるならむ」とした表現はいいが
「茨ひきゆく」が判らない。「茨散らせる」はいかが。

評 うきは市 浮羽町 向 則正
事故により主なくせし酒店のいつよりか戸を閉めて久しき
「いつよりか」と「久しき」の整合性に疑問がある。結句を「青嵐
する」など、飛躍するのも一方法である。

評 福津市 中央 池浦 千鶴子
時折りは挨拶交はず娘見ず庭の枇杷の実三つ熟れをり
娘を案ず気持の出ているというた。ただ田中作品の螢一つもそ
うだが、枇杷三つが気になる。数字は出された数以外何も無くイ
メージが固定してしまうから、注意して欲しい。

評 宗像市 田久 巻 桔梗
(灯)は(ともる)とふ呪縛からのがれぬ歌を叱りつ大野展男は
桜と言えは散る。曼珠沙華なら朱など、決まり文句を避けよ、と
の注意でしたが、ゴメンナサイ。

評 福津市 星ヶ丘 佐々木和彦
空梅雨の川のほとりの合歓の木が花につつまれ桃色を帯ぶ
蕪村の「雨の日やまだきにくれてねぶの花」の反対の空梅雨の合歓であ
る。桃色とした処が当たり前のようだが常識を逆手に取っている。

評 宗像市 日の里 大和 美由紀
大刀洗の航空隊のありし跡青田広がり燕飛び交ふ
ヒコーキならぬ燕が飛んでゐる。燕は平和の象徴である。

評 福津市 若木台 野間 精一
暁に短くたたくごとく啼く声は水鶏が近きにありて
カ行音を多用し、キョツ、キョツキョツと戸を叩くよな声で啼く
水鶏の声に合せた技法は秀抜である。

評 宗像市 東旭ヶ丘 天野 禮子
広がる植田にさかさの山写り宗像平野は夏に入りたり
おおらかで親しく見慣れた初夏の景である。詠法がやや古風な
のと、「さかさ」に「が」さかさの」となっているのが惜しい。

評 宗像市 大島 杉田 禮子
線香の香り漂ふ早朝の道地蔵の花もさし代えてあり
里人に親しまれて地蔵であろう、すがすがしい気分がある。早朝と書いて朝
と読ませるのは無理。朝の道でいい。字を酷使することは歌への冒険である。

評 宗像市 田野 森 甲子
北風に光化学スモッグ吹き払はれ四塚連山手に取るごと見ゆ
新興大国中国が元と言われる光化学スモッグ。それだけに重い
気分になるが、晴れた時のよろこびはまた一入りである。

評 福岡市 南区 井田有久衣
道祖神のかたわらに咲く沈丁花ほのかな香り四辺に漂う
下句に類型を感じるが道祖神との組合せがいい。歌は物と言葉
の組合せの文学でもある。

評 宗像市 ひかりヶ丘 清水 亜矢子
蚊が出でて夏の戦いざ開幕生きるか死ぬか暑い夏なり
率直に述べられ、私も蚊が苦手なだけに気持は判るが三、四句は
大袈裟なので三句を「はじまりぬ」と押えた表現にする。

選者詠
若者はみなかるやかに遊びをり
雨のポップコーン店にぎはふ
ゆつくりと過ぎゆくフェリー船を待ち
小漁船群波にたゆたふ
油臭いから江戸前だとい
意気がりし寿司屋を思ひ東京湾ゆく



第五二七回 俳句作品集

宗像市 東郷 田中 憲象
一言を添えて氏子の一夜酒
宗像市 光岡 白土 凌一
田植終え胸なでおろす農家人
宗像市 日の里 花田いつ枝
お田植の水面に真白禰宜の衣

編集後記

梅雨も明け、本番となると、野球です。甲子園ではなく、今回触れるのはプロ野球です。▼首位ではないので注目されていませんが、創設以来タンツツ最下位だった楽天が今、勝つてます。プロセス重視のチーム作りで定評がある野村監督が率いて二年目です。▼その野村監督がシーズン前に支えとする格言と聞かれ答えたのが、「考え方が変われば行動が変わる、行動が変われば習慣が変わる、習慣が変われば人格が変わる、人格が変われば運命が変わる、運命が変われば人生が変わる」です。お坊さんの言葉らしいですが、あまりにも参考になる言葉だったので、小生新聞を切り抜きしてしまいました。▼新人の成長、ベテラン選手の劇的な復活、そしてヒーローの日替わり……。人間と政治はそう簡単には変わらないはずですが、一体何人の棄天の選手が今シーズンで人生を変えることが出来たのでしょうか。▼日々刻々と「変化」はしていきますが、自らの意思で変わって、変えてみたいものです。(M.O)

宗像大社事務所 発行所 宗像

〒811-3505 福岡県宗像市田島
電話 0940-62-1311(代)
発行人 葦津幹之
編集人 大塚宗延
制作 セネラルアサヒ
印刷 セネラルアサヒ

定価1年送料共1,000円